

小林市における高病原性鳥インフルエンザ疑い事例の発生について

令和 2 年 1 2 月 2 9 日

畜産新生推進局

1 農場の概要

所在地：小林市

飼養状況：肉用鶏 約 1 5 万 4 千羽

2 発生の経緯

- (1) 本日 1 3 時 3 0 分に、5 例目の移動制限区域内の農場からの報告徴求により、死亡鶏の増加が見られたことから、都城家畜保健衛生所が当該農場の立入検査を実施。
- (2) 同日 1 4 時 3 0 分に同家畜保健衛生所が当該農場において、鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、A 型インフルエンザ陽性を確認。

3 今後の対応状況等

- (1) 緊急的な措置として、以下の対応を実施。
 - ① 当該農場の鶏・物品等の持ち出し禁止
 - ② 周辺農場の飼養状況の確認及び移動自粛の要請
- (2) 県対策本部班長会議の開催
- (3) 第 8 回県対策本部会議（書面開催）
- (4) プレスリリース（第 1 報）
- (5) 記者会見の開催
- (6) 庁内動員予定者への対応依頼
- (7) 消毒ポイント設置箇所の選定
- (8) 自衛隊への派遣要請準備調整（疑似患畜判定後に正式要請）
- (9) 宮崎家畜保健衛生所における P C R 検査結果判明
- (10) 農林水産省による疑似患畜の判定、防疫措置の実施
 - ① 発生農場等における殺処分開始
 - ② 農場周辺の移動制限（3km内）及び搬出制限区域（3～10km）
 - ③ 消毒ポイントの稼働